



鳴子ダム水源地域ビジョン 第2回策定委員会資料



平成17年3月23日（水）

資料 - 3 第1回策定委員会の概要



鳴子ダム水源地域ビジョン第1回策定委員会の概要 (1)

「鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会 第1回策定委員会」
について

平成17年1月26日(水)、「鳴子ビューホテルかねちゅう」で、
「鳴子ダム水源地域策定委員会(第1回)」が開催されました。

1. 第1回策定委員会の概要

(1) 日 時:平成17年1月26日(水)14:30～17:20

(2) 場 所:鳴子ビューホテルかねちゅう2階コンベンション
ホール曙

(3) 参加者:25名(3名欠席)

第1回策定委員会の経過と様子は次のとおりです。

会の冒頭、東北地方整備局河川部長からの挨拶があり、事務局より、鳴子ダム水源地域ビジョンの背景や目的、ビジョン策定の進め方、鳴子ダム水源地域の現状などの説明を行いました。

委員長に、森杉壽芳東北大学大学院情報科学研究科教授を選出し、議事が進められました。委員のみなさんから、さまざまな意見をいただきました。

なお、第2回策定委員会は、3月23日(水)に行う予定です。

2. 委員の発言の要旨

委員のみなさまからご発言いただいたご意見を、水源地域のありようなど、項目別に整理すると、以下のとおりです。

(水源地域のありよう)

ビジョンにおいては、水源地域である鬼首地区のランドデザインづくりという取り組み方が必要。

利水、治水など、鳴子ダムの役割は高いが、一方で水源地域は人口が減少しており、今般の市町村合併を通して、大崎市として地域間を強く結んでいく必要がある。大崎市は合併後14万人となり、このスケールも活かしたい。

地域自治組織を位置づけ、鬼首地区の地域活動を進める必要がある。地域の元気は大崎市の元気につながる。

地域に住んでいる人が地域の良さをわからないと、よそから来た人に自分たちの地域の良さを説明できない。学校教育などで学習する機会が必要。

鬼首中学校が廃校になるため、今後の活用策を考えていく必要がある。

地域の人々が主体となってビジョンづくりを進める必要がある。交流・連携などの事業展開も、地域の人々がうまく利用するというスタンスが必要。

地域振興などを目的として、「観光」「交流」という言葉がよく使われるが、人を呼び込むためには、地域が人を呼び寄せる「能力」を身につけなくてはならない。一方的に人が来るのは「交流」ではなく「直流」である。地域の人々が地域に誇りを持ち、地域をよく知らなくてはならない。

江合川の源流部の石碑やダムサイトの感謝の碑など、地元の人にも分からないくらい江合川や鳴子ダムに関する認識が薄れているので、子どもから大人まで、地域をよく学び、合併を契機として、川によりつながっているという意識形成を図るべき。

鳴子ダム水源地域ビジョン第1回策定委員会の概要 (2)

〔 水源地域の環境について 〕

個人所有の山林や国有林など、森林資源の保全などの意識が非常に低くなっており、人々が森林に興味を示し、親しみのもてる自然林の復活を目指していく必要がある。

森林浴等、観光客が山の中まで入っていける仕組みづくりが必要である。

ダムを拠点に花淵山などにつながるトレッキングコースを整備し、山登り等のお客さんの要望に対応したい。

江合川の環境という視点で上流では下水道の整備が必要。

〔 鳴子ダムについて 〕

ダムの役割などについて認識し、学校教育の場で展開していく必要がある。校外学習の場ととらえPRしていく必要がある。

ダムに親しみをもって集まってくる人が少なくなっている。

すだれ放流は見事だが、知らない人も多く、PRが必要。

鳴子ダムは、アーチ形状など、東北地方で一番美しダムで、これも資源の一つとして活かすべき。

産業観光という形態があり、鳴子ダムの場合は、日本人が初めて造ったアーチダムとしての価値や、その機能・役割などもきちんと評価し、産業資産として価値観をもたせるような取り組みも必要。

〔 水源地域と江合川流域や各地域とのつながりについて 〕

鳴子ダム水源地域の鬼首地区は、秋田に向かうルート上にあり、広域での観光戦略づくりが必要。

「北上川という大きな川(江)と合川」で江合川といわれるように、川を通じて交流が活発になれば素晴らしい。

森は海の恋人というように、江合川を通して、森(鬼首地区)は海(石巻市)までつながっている。この意識を高めれば交流人口も増えるだろう。

江合川流域沿いの「まち」がつながり、一つの「まち」としてがんばっていく必要がある。

ビジョンは、上流と下流の交流、水と人と温泉などをキーワードに、いろいろな組織を立ち上げて展開すべき。江合川を中心に人々の組織がたちあがればよい。グリーンツーリズムの活用など広がりをもってもらえれば発展していくのではないか。

江合川流域内外との交流活動が必要。

多くの方々に目的をもって鬼首に来てもらい、自然に触れ合ってもらいたい。

鳴子ダム水源地域ビジョン第1回策定委員会の概要 (3)

〔 荒雄湖畔公園や江合川について 〕

荒雄湖畔公園は何ができる公園なのかがわからない。もっとわかりやすく情報を発信していくべき。

キャンプ場があるが、最近はおートキャンプ場が主流なので、これらに対応してほしい。

冬期間の雪を使った観光(雪洞体験)を考えてはどうか。

近年は釣りのスタイルも変わり、休憩機能などのニーズが高いので、釣り人のため、トイレやレストハウスなどを整備してはどうか。

水に親しめる空間や、サイクリングロードなどを整備して、環境づくりを進めてはどうか。

〔 鳴子ダムや水辺と親しむ・眺望する 〕

ダム湖周辺の景色、すばらしさは下に降りないと見えない。ダムを見せるための駐車場整備などをすべき。

鳴子ダムの場合、ダムを眺望できる場所が小規模なので、今後整備される湖西道路などからの眺望地整備も必要ではないか。

〔 水源地域ビジョンのさまざまな視点について 〕

ダムの発電、地熱発電など、環境をテーマとしたエコツーリズム、グリーンツーリズムの観光を展開してはどうか。

水源地域の「魅力」の情報発信、温泉の良さ、森林浴などによる癒し、教育、医療などをキーワードとして展開してはどうか。

蕎麦など、「食」も一つの魅力となろう。

〔 鳴子温泉というイメージから 〕

脚気(かけ)川渡、瘡(かさ)鳴子といわれるように、温泉の効力をもっとPRしたらどうか。

鳴子温泉は体に良いことをもっとPRしていくべき。

鳴子ダム 水源地域ビジョン

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所



- 第1回策定委員会資料 -

[資料-1 策定委員会委員名簿](#)

[資料-2 設立趣意書](#)

[資料-3 策定委員会規約](#)

[資料-4 傍聴規定](#)

[資料-5 水源地域ビジョンについて](#)

[資料-6 進め方について](#)

[資料-7 現状について](#)

[資料-8 策定スケジュール](#)

- 第1回策定委員会当日の様子 -

[第1回策定委員会について](#)

[鳴子ダム管理所TOPへ](#)

ご意見はこちらをお願いします
naruko@thr.mlit.go.jp

水源地域ビジョンとは

従来、ダムは、治水、利水等、主に下流地域の国土保全、国民生活の安定、産業経済の発展のために供されてきました。

21世紀においては、これらのダムの効果に加えて、ダム及び水源地域の豊かな自然、文化等を活用した地域の振興、及び、バランスのとれた流域の発展を図ることにより、21世紀のランドデザインの一部として機能することが期待されます。

このため、国土交通省では、直轄ダム、水資源開発公団ダムについて、地域ごとに、ダム水源地域の自治体等と共同で、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとしました。

鳴子ダムでは、水源地域ビジョンを身近に感じていただくために、随時、かわら版を発行することといたしました。最新のニュースを発信いたします。



かわら版 No.1



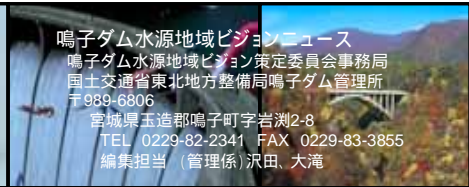
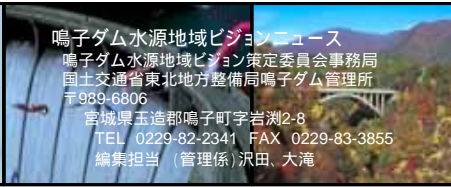
かわら版 No.2

新着情報

鳴子まちづくりニュース(No.2)を発行しました (05/02/21)
鳴子まちづくりニュース(No.1)を発行しました (05/02/17)
鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第1回)が行われました (05/01/26)

鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
国土交通省東北地方整備局鳴子ダム管理所
〒989-6806
宮城県玉造郡鳴子町字岩淵2-8
TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855

鳴子まちづくりかわら版(鳴子ダム水源地域ビジョンニュース)



鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第1回)が開催されました

平成17年1月26日(水)、「鳴子ビューホテルかねちゅう」で、「鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第1回)」が開催されました。

第1回策定委員会の概要

- (1) 日 時: 平成17年1月26日(水) 14:30 - 17:20
- (2) 場 所: 鳴子ビューホテルかねちゅう2階コンベンションホール曙
- (3) 参加者: 25名(3名欠席)

第1回策定委員会の経過と様子は次のとおりです。

会の冒頭、東北地方整備局河川部長からの挨拶があり、事務局より、鳴子ダム水源地域ビジョンの背景や目的、ビジョン策定の進め方、鳴子ダム水源地域の現状などの説明を行いました。

委員長に、森杉壽芳東北大学大学院情報科学研究所教授を選出し、議事が進められました。委員のみなさんから、さまざまな意見をいただきました。なお、第2回策定委員会は、3月23日(水)に行う予定です。



第1回委員会のようす

森杉委員長の挨拶

鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会 委員名簿

氏名	所 属
森杉 壽芳	東北大学大学院情報科学研究所 教授
平野 勝也	東北大学大学院環境科学研究所 講師
志賀 秀一	(株)東北地域環境研究室 代表
吉川 由美	(有)ダハ プランニングワーク 代表取締役
高橋 宣安	鳴子町観光協会 会長
高橋 一壽	鬼首温泉観光協会 会長
遊佐由起子	鳴子町商工士会 女性部 副会長
高橋英理子	レンダラー
後藤 諒信	鬼首農地開発農業振興組合 組合長
板垣 幸寿	鳴子町石の梅町づくり創造研究会
	鳴子 美郷の会代表
向田 晃	(株)鬼首リゾートシステム 取締役支配人
大沼 幸男	鳴子町中央公民館 幹幹
毛利スミ子	母な北上川を愛する女性の会 代表
古澤 勝郎	すばらしい涌谷を創る協議会 会長
岸 浩夫	鳴子町立中山小学校 校長
伊藤 幸二	(株)大崎タイムス社 代表取締役社長
田中 康夫	東北電力(株)古川技術センター 所長
齋藤 榮一	大崎土地改良区 理事長
高橋 義雄	鳴子漁業協同組合 理事
佐々木謙次	古川市長
佐藤 仁一	岩出山町長
堀江 敬正	田尻町長
高橋勇次郎	鳴子町長
日高 瑞記	宮城北部森林管理署 署長
清水 強	宮城県古川土木事務所 所長
富田 和久	国土交通省東北地方整備局 河川部長
関沢 元治	国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所 所長
佐々木 充	国土交通省東北地方整備局 鳴子ダム管理所 所長

(印は委員長、順不同・敬称略)

委員のみなさまからいただいた意見の概要

【水源地域のありよう】

水源地域＝鬼首地区のランドデザイン(づくり)という視点で、大崎市の合併を活かして地域間交流を促進する。鬼首地区の地域活動を活性化し、地域の人が地域のことを誇りに持ち、地域の良さを知り、地域の人が主体となってビジョンづくりを進める。「交流」「観光」のキーワード展開には地域力(人々に対する押し方)も不可欠。江合川源流の石碑やダム感謝の碑など埋没している地域の実態を地域の人がよく認識する。廃校を校舎として鬼首中学校の活用方を検討。

【水源地域と江合川流域や各地域とのつながり】

鳴子ダム水源地域は秋田方面に方向性があり、北にあり広域での戦略づくりが必要。江合川の由来(北上川という大きな川(江)と合川)といわれるように、川を通して交流を活性化し、江合川上流でのサイクリングロードづくりを進める。「まち」として取り組む。上流と下流の交流、水と人と温泉などをキーワードにして展開を図る。江合川沿いの人が組織を立ちあげて展開を図る。

【水源地域の環境】

森林資源の意義を再確認。自然林の復活。森林浴やトレッキングなど山の中に気軽に入れる環境整備。

【鳴子ダムについて】

ダムの役割を認識し学校教育などで展開。すたれ放流などPR不足。鳴子ダムは日本人がはじめてつくったアーチ式ダムで、環境も美しく、積極的にPRする。ダムを土木資産のようなものに位置づけ、ダムの役割や機能もキチンと評価して価値観をもたせる。

【荒雄湖畔公園や江合川について】

荒雄湖畔公園を利用してやすらぎのオーソニックへの対応。冬期間は雪洞体験。釣り人へのサービス向上。北上川上流でのサイクリングロード整備。

【水辺との親しみ・ダムとの親しみ】

ダム湖・ダム体感を眺望できるスポットの整備。

【鳴子のイメージをビジョンに反映】

水力、地熱発電所があるので、環境をテーマに展開はどうか。グリーントウリズム、温泉医療もひとつのキーワードに。美味い・需要など地域の食文化の向上。「脚気(かつ)川流、痛(かさ)鳴子」といわれる温泉と健康の関係性をアピールする。

『鳴子ダム水源地域ビジョンづくりに“ご意見”“アイデア”をお寄せください』

『鳴子ダム水源地域ビジョンに対するご意見募集』

<鳴子ダム水源地域ビジョンに対するご意見とは>

鳴子ダム水源地域ビジョンでは、水源地域である鳴子町のみなさんや、鳴子ダム流域(北上川水系江合川)に広がる大地域のみなさんが、元気になるご意見やアイデアを募集しております。

<鳴子ダム水源地域が元気になるご意見やアイデアとは>

鳴子ダム水源地域ビジョンでは、地域づくり、人づくりがビジョンの推進にとって最も大切なものと考えています。このため、地域と地域の結びつきや人との結びつきを重視しながら、広く、鳴子ダム水源地域づくりに係わる意見やアイデアを募集します。

特に、自然や文化、観光や産業、地域や歴史など、鳴子ダム水源地域がもつ豊かな資源を活かすことができるような、様々なご意見、アイデアをご提供いただき、鳴子ダム水源地域を元気にしていきたいと考えております。是非、鳴子町のみなさんや、鳴子ダム流域のみなさんをはじめ、さまざまな方々よりご意見、アイデアをご提供いただき、よりよいプランとなるよう進めていきたいと考えております。

<ご協力いただく期間>

鳴子ダム水源地域ビジョン策定期間です平成17年9月までとします。

なお、ご意見を掲載する方法としては右記に示すような方法の中から適当と思われるものでご連絡ください。

鳴子ダム水源地域ビジョンのキーワード

平成17年1月26日(水曜日)に開催された「鳴子ダム水源地域ビジョン策定委員会(第1回)」において、地域づくりには、「水源地域と江合川流域の人々の交流、連携が重要である」との意見が委員の皆様から多数寄せられました。(かわら版No.1をご覧ください) 意見をキーワードとして整理すると以下のようになります。このキーワードなども併せてご意見、アイデアをご提供いただければと考えております。アイデアの例なども記しましたので、これらも参考にして下さい。

【水源地域のありよう】

例) 鬼首地区がどうなったら活性化するかみんなで考え、地域の人が主体となって実行していく。地域の人が役割意識をもって地域づくりを行っていく。組織をつくり推進していく。

【水源地域と江合川流域や各地域とのつながり】

例) 秋田・山形・宮城で広域的な戦略をたてる。合併を契機に江合川沿いのまちづくりを考える。

【水源地域の環境】

例) 上流の森林の保全のあり方。トレッキングの整備や森林教室などの開催。

【鳴子ダムについて】

例) ダムの仕組みをよく知って情報を発信する。ダムを拠点とした活動を展開する。

【荒雄湖畔公園や江合川について】

例) 荒雄湖畔公園や江合川沿いの河川公園利用の活性化。

【水辺との親しみ・ダムとの親しみ】

例) ダムサイト(ダムのまわり)の環境整備。

【鳴子のイメージをビジョンに反映】

例) 水力発電、地熱発電など自然エネルギーを供給しているので、「環境」をキーワードにビジョンを展開。鳴子といえは温泉なのでこれらをアピール。

【ご意見・アイデアをご提供いただく方法】

ご意見等をいただく際は、以下に示すいくつかの方法でお願します。

インターネットを使ってご意見・アイデアをご提供いただく場合
・鳴子ダム管理所のホームページURL: <http://www.thr.mlit.go.jp/naruko> にアクセスしていただき「鳴子ダム水源地域ビジョン」のページにご意見・アイデアと合わせて、御住所、御氏名、年齢、性別、電話番号等をご記入ください。

電子メールを使ってご意見・アイデアをご提供いただく場合
・鳴子ダム管理所のE-mail: naruko@thr.mlit.go.jp に直接電子メールにて、ご意見・アイデアと合わせて、御住所、御氏名、年齢、性別、電話番号等もご記入ください。

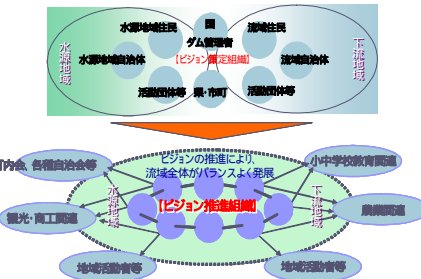
FAXを使ってご意見・アイデアをご提供いただく場合
・鳴子ダム管理所のFAX: 0229-833-3855まで、適宜用紙にて、ご意見・アイデアをご記入の上、御住所、御氏名、年齢、性別、電話番号等も合わせてお書きください。

封書はがきを使ってご意見・アイデアをご提供いただく場合
・鳴子ダム管理所の〒989-6806 宮城県玉造郡鳴子町字岩淵2-8まで、封書はがきにて、ご意見・アイデアをご記入の上、御住所、御氏名、年齢、性別、電話番号等も合わせてお送りください。

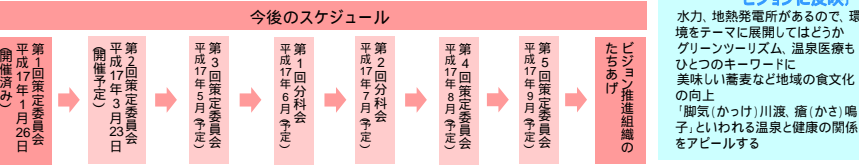
なお、皆様から寄せられたご意見、アイデアについては、全て、事務局にとりまとめ、委員会にご提案させていただきますが、全てがビジョンづくりに取り入れられない場合もございますのでご了承ください。

『鳴子ダム水源地域ビジョンとは』

これまで、鳴子ダムは、治水、利水等、主に下流域の国土保全、国民生活の安定、産業経済の発展のために供されてきました。これからは、ダム本来の役割に加えて、ダムやダム水源地域の豊かな自然、文化を活用した地域の振興、江合川流域の(トランス)のとれた発展を図ることが必要です。鳴子ダムでは、水源地域である鳴子町のみなさんや、江合川流域の皆さんと共同で、ダムを活かした水源地域の自立・継続的な活性化を図るための「鳴子ダム水源地域ビジョン」を策定することになりました。水源地域ビジョンの策定・推進にあたっては、鳴子町や江合川流域のみならず、関係行政機関などが連携して進め、鳴子町推進組織を立ち上げて、行動していくとするものです。



ビジョン策定および地域連携イメージ



1. 鳴子町全戸(約3,300世帯)
2. 江合川鳴子ダム放流通報連絡会(35団体)
 - 宮城県古川産業振興事務所
 - 宮城県古川土木事務所
 - 宮城県大崎地方ダム総合事務所
 - 古川市交通防災課、鳴子町総務課、岩出山町総務課
 - 小牛田町総務課、田尻町総務課、涌谷町総務課
 - 河南町総務課、鳴子町教育委員会
 - 大崎地域広域行政事務組合 消防本部
 - 石巻地区広域行政事務組合 消防本部
 - 大崎地域広域行政事務組合 鳴子消防署
 - 大崎地域広域行政事務組合 古川消防署
 - 大崎地域広域行政事務組合 涌谷消防署
 - 石巻地区広域行政事務組合 矢本消防署
 - 宮城県鳴子警察署
 - 宮城県古川警察署
 - 宮城県小牛田警察署
 - 宮城県涌谷警察署
 - 宮城県石巻警察署
 - 東日本旅客鉄道(株)仙台支店小牛田保線区
 - 桃生町総務課
 - 三本木町総務課
 - 松山町総務課
 - 鹿島台町総務課
 - 鳴瀬町総務課
 - 南郷町住民課
 - 松島町環境防災班
 - 東北電力(株)古川技術センター
 - 北上下流河川事務所
 - 北上下流河川事務所 大崎出張所
 - 北上下流河川事務所 涌谷出張所
3. 地域活動団体(江合川流域市町)(85団体)
 - 特定非営利活動法人ひたかみ水の里
 - 特定非営利活動法人オープンハート・あったか
 - 特定非営利活動法人蕪栗ぬまっこくらぶ
 - 特定非営利活動法人がんばれネット
 - 特定非営利活動法人宮城まちづくり協議会
 - 特定非営利活動法人地域文化研究所小牛田セミナー
 - 特定非営利活動法人いしのみきNPOセンター
 - 特定非営利活動法人地域文化創成社爽風白露
 - 特定非営利活動法人ひよっこりひょうたん田代島
 - 特定非営利活動法人パートナーシップ古川
 - 特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター
 - 特定非営利活動法人北上川・水の輝き
 - 特定非営利活動法人TERAKOYA
 - 大崎コミュニティカレッジ
 - 大崎風土耕舎
 - 音楽ボランティアグループ「やさい畑」
 - 子育て支援 ふるかわおひさまの会
 - 子どもの明日を考える会
 - (社)古川青年会議所
 - 煎茶道清泉幽茗流清泉会古川支部
 - 西古川共栄会
 - P・A技術者協議会
 - 古川生き活きまちづくり21委員会
 - 古川子ども劇場
 - 古川市国際交流協会
 - 古川市地域婦人団体連絡協議会
 - 古川市リサイクルデザイン工房友の会
 - 古川の街づくりをすすめる女性の会
 - ふるかわ平和のつどい
 - ポタン・クラブ

保柳神楽保存会
岩出山町菊花愛好会
岩出山町ボランティアガイドの会
ボランティアグループ「スコール」
有備会
カムロ企画
縄文音楽集団「鬼」
鳴子町石の梅まちづくり創造研究会 鳴子・楽郷の会
東鳴子ゆめ会議
あるグループ
写真クラブ涌谷フォート
涌谷町健康推進員協議会
涌谷町に桜の木を増す会
国際田園研究所
田尻郷土研究会
田尻町グリーンツーリズム委員会
塩土老翁グループ
小牛田混声合唱団
小牛田町バイテク研究会
小牛田町無名会
小牛田和太鼓江鳴会
創作和太鼓駒の会
遠田地区更生保護婦人連絡協議会
特定非営利活動法人みやぎボクシングクラブ
21石会
石巻駅前親交会婦人部
石巻日高見太鼓
渡波水曜会
渡波生活学校
劇団「夢回帰船」
(社団)石巻青年会議所

石巻市町内会連合会婦人部会
石巻市地域婦人団体連絡協議会
湊をみんなで考える会
石巻圏まちづくりデザイン会議
母なる北上川を愛する女性の会
ひたかみ水の里
みやぎヒューマンライフ石巻ブロック会
河南鹿嶋ばやし保存会
和瀨青年商工会
河南町農業研究団体連絡協議会
河南町まちづくりの会みずすまし
桃生町文化協会
桃生町婦人団体連絡協議会
d.ARTS
いしのまきNPOセンター
石巻千石船の会
石巻若宮丸漂流民の会
明るい社会づくり運動石巻地区推進協議会
朗読ボランティアグループまいまい
LITTLEWAVEF
ケア・サポートぬくもり
NPOスマートシニアいしのまき
まんぼう画会
水と緑の環境フォーラム・ものう